

## 巻 建設株式会社 環境行動計画

平成 20 年 3 月 19 日

### 取 組 方 針

当社は、建設技術を磨き創意工夫で品質の向上を図り、継続的改善の実施と顧客満足の向上を目指し、信頼されるサービスを提供し活動しています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指してまいります。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 現場、事務所における燃料の削減・リサイクルの推進
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 20 年 3 月 3 日

巻建設株式会社

代表取締役社長 巻 一 久

### 3 環境負荷の低減目標

20 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 19 年です。)

【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 3%削減する

基準年の総排出量 66,067 (kg-CO <sub>2</sub> )
--

目標年の総排出量 64,084 (kg-CO <sub>2</sub> )
--

【目標 2】 コピー用紙の使用量を 3%削減する

基準年の排出量 17 (kg)
--------------------

目標年の排出量 16.5 (kg)
----------------------

【目標 3】 水使用量を 3%削減する

基準年の使用量 357 (m <sup>3</sup> )
----------------------------------

目標年の使用量 346 (m <sup>3</sup> )
----------------------------------

【目標 4】 ごみ排出量を現状維持する

基準年の排出量 300 (kg)
---------------------

目標年の排出量 300 (kg)
---------------------

### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

(現場での活動)

- ・ 昼休みと休憩時間には、重機・車両等、使用していないエンジンを切る
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける

(事務所での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正 (冷房時 28 度、暖房時 20 度) に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用 (運転経路、相乗り) を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける

【取組 2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

現場 (産業廃棄物)

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 廃棄物管理票 (マニフェスト) の管理を徹底する

- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

#### 事務所（一般廃棄物）

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

#### 【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

#### 【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

#### 【取組5】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 緊急時以外は大型機械を扱う作業は、夜間・休日に行わない
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

## 5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。